

学力向上に効果のある取組事例

竹田市立久住小学校

学びと学校生活を支える「社会性」を育む取り組み

取組の具体①

- 学力向上のためには、まず学習に向かう集団作りが大切であると考え、心の教育の推進に重点をおいて取り組んでいる。
- 毎週火曜日の朝活動でスマイルタイム(人間関係づくりプログラム)に取り組んでいる。学級での活動を基本とするが、学期に3回たてわり班でも活動している。観点「①あいさつ ②笑顔③うなづき」について毎回振り返りを行な、その観点は授業での指導にも生かされている。たてわり班での活動では、子どもどうしのつながりの深まりが見られる。
- 毎日、どの学級も「友だちのがんばり見つけ」「いいね！見つけ」の活動を行なっている。日常的に子どもどうしが肯定的に見合う場面をつくることで自己肯定感や自己有用感の高まりがみられ、WEBQUの結果にそれが表れている。



たてわり班でのスマイルタイム

取組の具体②

- 自らの差別意識に向き合い、人権尊重のための指導の起点とするための人権集会を学期に1回行なっている。学校生活上の課題と考えられることを児童会役員が劇化して問題提起し、異学年のたてわり班で「どのような言動をするのが良いか」「自分はそれができるのか」等について話し合っている。



人権集会 たてわり班での話し合い